

令和6年度 墨田区立隅田小学校 学校経営計画・経営報告書（自己評価・学校関係者評価）

作成者 校長 藤井 洋子

学校教育目標	◎自分の思いや考えがもてる子ども《知》○思いやりの心がある子ども《徳》○心と身体をきたえる子ども《体》
目指す学校像	明るく 楽しく 温かく 明日も行きたくなる学校
目指す児童像	○自ら考えやりぬく子○互いに認め合い高め合う子○健康で安全な生活を心がけ進んで体をきたえる子
目指す教師像	○一人一人の良さを伸ばし、分かる授業・楽しい授業・定着する授業を追求する教師○一人一人の思いを受け止め、教え導く教師○保護者、地域と連携し、よりよい学びの場を想像し信頼される教師

<p>○令和6年度 学校経営計画における重点内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力向上 ・あいさつの日常化 ・不登校対策

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価			
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等	
各教科指導等	確かな学力を育てるための分かる、できる、定着する授業の実施 ①学習内容に応じたICT機器の活用	①タブレット端末をはじめとするICT機器の活用に関する校内研修会を年6回実施	4	ICT機器を活用した授業実施率90%以上	4	4	児童アンケートによる肯定的回答80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・全教員がICT機器の活用した授業を積極的に展開している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ICT機器のより一層の活用とともに、紙や黒板といった従来の教材・教具ならではのよさについて再確認する。 	A	A	特になし
			3	ICT機器を活用した授業実施率80%以上		3	児童アンケートによる肯定的回答70%以上					
			2	ICT機器を活用した授業実施率70%以上		2	児童アンケートによる肯定的回答60%以上					
			1	ICT機器を活用した授業実施率70%未満		1	児童アンケートによる肯定的回答60%未満					
	②基礎基本の定着のための組織的取組	②毎月1回以上学力向上委員会の実施、年2回の全校漢字計算テストの実施	4	学力向上委員会の開催が年11回以上	4	4	全校漢字計算テストの平均得点が90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・学習状況調査や全校漢字計算テスト等に向けた取組が基礎学力の向上につながった。 ・学習習慣の確立に課題が残る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・引き続き、基礎学力の向上に取り組む。 ・学力向上委員会を中心として、児童の実態に応じた取組の工夫を継続する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・前回の報告からも学力調査の結果がよいことは理解している。引き続き、学力向上に努めてほしい。
			3	学力向上委員会の開催が年8回以上		3	全校漢字計算テストの平均得点が80%以上					
			2	学力向上委員会の開催が年6回以上		2	全校漢字計算テストの平均得点が70%以上					
			1	学力向上委員会の開催が年6回未満		1	全校漢字計算テストの平均得点が70%未満					
	特別な支援を必要とする児童に対する組織的対応力の向上	特別支援コーディネーターの複数配置、特別支援委員会（月1回）、教職員対象の校内研修会（年3回）の実施	4	特別支援委員会、校内研修会実施状況100%	3	4	児童アンケートによる肯定的回答80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・特別支援コーディネーターを中心に児童一人一人に応じた支援の実現に努めている。 ・多様化する児童の困り感に対応できる組織的対応力を高めていく。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校全体で支援や指導の方針の共有の場をより充実させる（研修、全体会の設定）。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・通常学級と特別支援学級で少し隔りがあるような気がしている。 ・隅小キッズとしても必要なサポートができるようにしたい。
			3	特別支援委員会、校内研修会実施状況90%以上		3	児童アンケートによる肯定的回答70%以上					
			2	特別支援委員会、校内研修会実施状況70%以上		2	児童アンケートによる肯定的回答60%以上					
			1	特別支援委員会、校内研修会実施状況70%未満		1	児童アンケートによる肯定的回答60%未満					
教員の指導力・授業力の向上のための組織的取組	校内OJT（年3回の授業の相互参観・全主任教諭によるミニ研修）、校内研究授業（年8回）の実施	4	OJT及び校内研究授業の実施100%	3	4	児童アンケートによる肯定的回答80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿ってOJT及び研究授業を実施した。 ・研究主任を中心に研究授業前後の協議を充実させたことで、教員同士の学び合いの場とすることができた。 	<ul style="list-style-type: none"> ・主任教諭によるOJTの日程を工夫し、主任教諭の意識向上を図る。 ・来年度も相互参観の取組を継続し、互いに学び合う職場づくりに努める。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・OJTの様子は見られないが、職員の雰囲気はよい。子どもにとって、よい学びができる環境であると思う。 	
		3	OJT及び校内研究授業の実施90%以上		3	児童アンケートによる肯定的回答70%以上						
		2	OJT及び校内研究授業の実施60%以上		2	児童アンケートによる肯定的回答60%以上						
		1	OJT及び校内研究授業の実施60%未満		1	児童アンケートによる肯定的回答60%未満						
生活指導等	いじめ、不登校の予防や解決に向けた組織的取組 ①いじめ、不登校の未然防止、早期発見、早期対応の徹底	①いじめ防止のためのアンケート（年3回）及びいじめ防止授業（年3回）、生活指導夕会（週1回）、不登校委員会（月1回）、特別支援委員会との連携等	4	いじめ、不登校への対応状況100%	4	4	児童アンケートによる肯定的回答90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・計画に沿ってアンケート、いじめ防止授業を実施し、早期発見・早期解決に努めた。 ・不登校傾向の児童に対し、外部機関とも連携して対応した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・不登校の早期発見・早期対応を重点とし、保護者や専門家、関係機関と連携を強化する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・改善方針に児童の声が反映されているかが、不明。 ・不登校児童とつながっていることは大切。協力できることがあれば、協力したい。
			3	いじめ、不登校への対応状況90%以上		3	児童アンケートによる肯定的回答80%以上					
			2	いじめ、不登校への対応状況80%以上		2	児童アンケートによる肯定的回答70%以上					
			1	いじめ、不登校への対応状況80%未満		1	児童アンケートによる肯定的回答70%未満					
	基本的生活・社会習慣、人間関係づくり ①あいさつの習慣づくり	①通年での挨拶指導、年3回の挨拶運動	4	教員アンケートでの肯定的評価90%以上	3	4	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・通年で取組を積み重ねることで校内での挨拶はよくなってきている。 ・校外での挨拶に課題がある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者に呼びかけたり、地域からの協力を仰いだりして、挨拶の習慣づくりを推進する。 	A	A	<ul style="list-style-type: none"> ・全員ができていないわけではなく、顔見知りになるときちんができる。 ・ありがたう、ごめんなさいなど思いやりや感謝だけでなく、学校の道徳の時間だけでなく、家庭でも教えたい。
			3	教員アンケートでの肯定的評価80%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上					
			2	教員アンケートでの肯定的評価70%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価50%以上					
			1	教員アンケートでの肯定的評価70%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価50%未満					
	②「隅田小の生活のきまり」の徹底を図る。	②年度当初、長期休み前後、必要に応じて随時、教職員、児童、保護者で「隅田小の生活のきまり」について確認、指導	4	教員アンケートでの肯定的評価90%以上	3	4	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・計画にそって指導を実施した。 ・保護者への周知が不足している。 	<ul style="list-style-type: none"> ・教員も定期的に「生活のきまり」に関する共通理解の場をもち、指導の徹底を図る。 ・保護者への周知の仕方を工夫する。 	B	B	<ul style="list-style-type: none"> ・隅小キッズでの児童の態度についても考えて対策をしていきたい。 ・学校だけでなく、家庭の指導も大事。伝え続けることで変化を期待したい。
			3	教員アンケートでの肯定的評価80%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上					
			2	教員アンケートでの肯定的評価60%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価50%以上					
			1	教員アンケートでの肯定的評価60%以下		1	保護者アンケートでの肯定的評価50%未満					
児童の安全を確保するための取組 ①災害や不審者等からの危機回避能力の育成、安全対策や点検の徹底	①月1回の避難訓練や安全指導・安全点検の実施、各学年1回以上セーフティ教室、交通安全教室の実施	4	各取組の実施状況100%	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	<ul style="list-style-type: none"> ・地震、火災、不審者等、様々な場面を想定した訓練を計画的に実施した。 	<ul style="list-style-type: none"> ・より実践的な訓練を工夫する。 ・教員向けの不審者訓練や防火扉が降りたときの訓練を実施する。 	A	A	特になし	
		3	各取組の実施状況90%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上						
		2	各取組の実施状況80%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
		1	各取組の実施状況80%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満						

項目	取組目標	具体的方策	取組指標		成果指標		分析	改善方策	学校関係者評価				
				評価		評価			自己評価	改善方策	意見等		
学校の管理運営	児童の実態に合わせた教育目標の設定及び適切な評価 ①経営方針の明示、進行管理、日常場面での具体的指導・助言	①企画会議（週1回）、自己申告、日常の授業観察等による進捗状況の確認と修正	4	教員アンケートでの肯定的評価90%以上	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上	・各種会議や打ち合わせを計画的に実施した。ICTを活用した情報共有を行い、適宜、進捗状況の確認や修正を行った。	・ICTの活用を推進するとともに、紙ベースでの連絡も併用して、より円滑な情報共有に努める。	A	A	特になし	
			3	教員アンケートでの肯定的評価80%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			2	教員アンケートでの肯定的評価70%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価60%以上						
			1	教員アンケートでの肯定的評価70%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価60%未満						
学校の管理運営	①管理職による服務事故防止研修を実施（月1回以上）	①服務事故の未然防止に向けた計画的な研修の実施	4	服務事故防止研修の実施100%	4	4	服務事故0件	・定期的な研修以外にも、随時、服務事故防止の呼びかけを実施した。	・職層、学年、校務分掌などのまとまりの中で、互いに注意をし合う体制づくりを行い、教職員一人一人の意識を向上させ、服務事故の起こりにくい環境を整える。	A	A	特になし	
			3	服務事故防止研修の実施95%以上		3							
			2	服務事故防止研修の実施90%以上		2							
			1	服務事故防止研修の実施90%未満		1							
教育環境・設備の整備	①児童が落ち着いた学校生活を過ごせる環境づくり	①月1回、全教員による点検の実施（安全面、ユニバーサルデザインの視点から実施）	4	点検の実施状況100%	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	・月1回の安全点検を確実に実施した。 ・工事期間中は、工事関係者と連携を図りながら安全な環境づくりに努めた。	・ユニバーサルデザインの視点からの環境整備について、年度当初に共通理解の場を設ける。	A	A	・事故なく工事が無事に終わった。引き続き、安全面に関して注意して行ってほしい。	
			3	点検の実施状況90%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上						
			2	点検の実施状況85%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			1	点検の実施状況85%未満		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満						
家庭・地域連携	保護者や地域の理解や協力を得た教育活動 ①積極的な情報発信	①PTA役員会や学校運営連絡協議会等での報告、ホームページの更新（月3回程度）	4	ホームページの更新、各種委員会等での報告90%以上	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	・週1回以上、ホームページを更新し、児童の様子を発信した。 ・より多くの保護者にとってわかりやすい情報発信の仕方の検討が課題である。	・COC00、ホームページそれぞれのよさを生かした情報発信を行う。 ・重要なお知らせについては、複数の媒体で発信し、確実に伝えられるようにする。	A	A	・音楽会をきっかけにして、ホームページを見るようになった。こまめに発信されていると感じる。	
			3	ホームページの更新、各種委員会等での報告80%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上						
			2	ホームページの更新、各種委員会等での報告70%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上						
			1	ホームページの更新、各種委員会等での報告70%以下		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満						
	家庭・地域連携	②保護者、地域の人材活用	行事、学校図書館の運営、放課後子供クラブや読み聞かせ、登下校時の見守りボランティア等での連携強化	4	各取組の実施率100%	4	4	保護者アンケートでの肯定的評価90%以上	・それぞれの団体に熱心に活動していただき、教育活動を支えていただいた。 ・放課後子供クラブでの児童の態度に課題がある。	・学校だよりや全校朝会等を活用して、広く活動を紹介する。 ・生活指導部中心に児童への指導を継続する。	A	A	・登校班は保護者同士の交流や地域の子どもを知り、共に育てるきっかけになる。
				3	各取組の実施率90%以上		3	保護者アンケートでの肯定的評価80%以上					
				2	各取組の実施率80%以上		2	保護者アンケートでの肯定的評価70%以上					
				1	各取組の実施率80%以下		1	保護者アンケートでの肯定的評価70%未満					
家庭・地域連携	③地域人材を活用した体験活動の実施	学校支援ネットワークをはじめとする地域人材を活用した授業等の実施（各学年2回以上）	4	実施率100%	4	4	各取組の実施状況、児童の感想	・学校支援ネットワークを積極的に活用した。 ・学区域の人材を活用し、自分たちの住む地域への関心や愛着を高めたい。	・総合的な学習の時間等で地域を生かした学習活動を実施する。	B	A	・基本的な体験が不足している児童が増えている。至れり尽くせりの状態は考えものだと思う。	
			3	実施率90%以上		3							
			2	実施率80%以上		2							
			1	実施率80%未満		1							

○令和6年度 学校経営報告のまとめ（総括）

- ・保護者・地域にご支援・ご協力いただき、教職員も前向きに教育活動を進めることができた。今後も積極的な公開、わかりやすい情報発信に努め、保護者・地域との信頼関係を強化していきたい。
- ・学力向上については、一定の成果を上げているもののD・E層の底上げが課題である。個別最適な学びの推進を図るとともに、既習事項の振り返りと情報活用能力の育成を充実させていく。
- ・不登校への対策も大きな課題となっている。学校運営連絡協議会でもご指摘いただいたように、今まで以上に児童理解に努め、保護者や専門家と連携し、一人一人の児童に寄り添った適切な対応を行っていく。
- ・あいさつの習慣づくりについては、通年で取り組み、意識の向上がみられる。きまりの徹底については、全教員が同じ指導をできるよう共通理解の場を適宜、設けるとともに児童の意見を取り入れた見直しを行い、規範意識の向上を図る。あいさつの習慣づくり、きまりの徹底ともに、保護者・地域との連携を強化していく。